

## 学外セミナー出張報告書

報告日 H19年12月11日 報告者 学術教養センター 亀田勝見

テーマ 近畿大学語学教育学部 第3回公開シンポジウム

国際社会が求める人間像:近大生のニーズに適した語学教育を考える

期間 2007/12/08 ~ 2007/05/29 13:30 ~ 16:50

出張先 近畿大学11月ホール 小ホール

出張内容

プログラムは以下の通り。

- 1)13:30 - 13:35 あいさつ 「21世紀の語学教育に向けて」  
楠本 隆(語学教育部長)
- 2)13:35 - 14:15 講演「企業が求める人材」  
講師 岩崎 正紘(元松下電器産業株式会社事業所人事部部长)
- 3)14:25 - 15:50 シンポジウム  
コーディネーター 北山 環(語学教育部長)  
第一部 「学部の人材育成における語学教育の役割」  
学部提案者  
法学部 藤田 直也 教授  
経済学部 松永 舞 准教授  
経営学部 浦崎 直浩 教授  
理工学部 大澤 孝明 教授  
薬学部 川畑 篤史 教授  
文芸学部 藤澤 博康 准教授  
農学部 八丁 信正 教授  
医学部 宗像 浩 教授  
生物理工学部 仁藤 伸昌 教授
- 4)16:00 - 16:50 シンポジウム  
第二部 「近代性の語学教育を考える 語学教育部の取り組み」  
語学教育部提案者  
カネル キム ロバート 教授  
新田 香織 准教授  
大村 吉宏 准教授  
大西 博子 准教授  
オストハイダ テーヤ 講師

### 要旨と所感

- ・講演では、20世紀における企業のグローバル化と21世紀への交替時期のそれとの相違を示した上で、これから求められる人材として「学ぶ力」「考える力」「人間理解力」を備えるべきことなどが述べられた。企業の変革により社内教育できなくなった現状から、大学にそれを代替してもらおうという、企業に都合の良い話や、昨今の表面的な話。
- ・シンポジウム第一部では、いわゆる一般教育を担当する語学教育と各学部の専門語学教育との連携について、取り組みを紹介するとともに現状の問題点が述べられた。
- ・シンポジウム第二部では、近大の語学教育における取り組みとして、近大 Can-do なる能力判定基準の作成とそれに応じたレベル別指導方法の確立を目指した活動の発表があった。まずは母語でコミュニケーションする能力を養うべきこと、国際化は国内から始まるという視点を語学教育では常に持つべき事などが語られ、示唆に富む内容であった。

以上